

# 「共に育み 未来につなぐ 信州の豊かな自然・確かな暮らし」 を目指して

私たちが暮らす長野県は、県土の8割を森林が占め、清らかな水や空気に恵まれるとともに、南北に長く急峻で標高差が大きい地形は、豊かな自然環境や多様な生態系を育み、地域ごとに独自の文化を形成してきました。

しかしながら、地球規模での気候変動の進展は、自然災害の増加や農作物の品質低下、動植物の分布域の変化など、私たちの生活にも大きな影響をもたらしています。また、今後見込まれる人口の急激な減少は、環境保全をはじめ地域を支える担い手の不足をもたらし、地域活力の低下も懸念されています。

こうした中、美しく豊かな自然環境に囲まれ、独自の伝統や文化を持ち、地域の絆や自治意識が強固で「県民力」の強い長野県こそが、持続可能な新しい社会を構築していくフロントランナーになり得ると確信しています。

折しも、経済・社会・環境の課題を統合的に解決することを目指すSDGs（持続可能な開発目標）の取組が、国内外で始まっています。このたび策定した「第四次長野県環境基本計画」では、「SDGsによる施策の推進」を基本方針に掲げ、環境保全の取組にとどまらず、環境を活かして経済・社会の課題解決を図る取組も積極的に推進していくこととしています。

今後、本計画に基づき、あらゆる主体とのパートナーシップにより、本県の美しく豊かな自然を次の世代に引き継いでいくとともに、経済・社会・環境の統合的向上により持続可能な社会の実現を目指してまいります。

皆様方の力強いご支援とご協力をお願い申し上げます。

平成30年3月

長野県知事 阿部 守一

